

平成 18 年 2 月 21 日

応用物理学会北海道支部  
会員各位

応用物理学会北海道支部

### 講演会のお知らせ

下記講演会を開催いたしますので、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

演題：高精度放射線治療に求められる品質保証・品質管理システム

講師：笈田 将皇 氏

（徳島大学医学部保健学科・助手）

日時：平成 18 年 3 月 6 日（月） 13:00～14:30

場所：北海道大学医学部保健学科 2 階多目的室（3）

主催：応用物理学会北海道支部

### 講演の要旨

がん治療患者の増加に伴い放射線治療の果たす役割が再認識されつつある中で、近年立て続けに引き起こされた医療事故を契機に、放射線治療における安全管理体制や治療の質について社会から問われ始めている。

高い精度が保証された状態で放射線治療を継続的に行うためには、適切な品質維持管理体制をとらなければならない。放射線治療に求められる品質管理は大きく 2 つに分けられ、ハード面では患者投与線量の総合的な不確定度に関することについて、ソフト面では業務に携わるスタッフのヒューマンエラーをできる限り回避することが望まれている。ハード面に関する管理項目として、治療装置・治療計画装置の精度に起因すること、線量測定 of 精度に起因することが挙げられる。前者は機械的な照射位置精度、アルゴリズムの違いによる計算精度であり、後者は線量計そのものが有する測定精度と位置づけられる。ソフト面に関する管理項目として、適切なスタッフの配置と教育体制の充実、異なる職種間の業務分担と連携を行うことが望まれる。

本講演では、まず高精度放射線治療および品質管理体制について参考事例（徳島大学病院）を挙げて概説する。加えて、放射線治療計画における計算アルゴリズムの違いがどのくらい精度に影響を与えるか、また高精度放射線治療で求められる精度について、現状と今後の課題を考察する。

世話人 伊達 広行

北海道大学医学部保健学科・放射線技術科学専攻

電話：011-706-3423 date@cme.hokudai.ac.jp